

授業科目(ナンバリング)	茶道文化IVB (AB402)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
茶道文化IA～IVAの集大成として卒業の茶事を行い、茶道におけるもてなしについての考えを深める。茶事の運営を通して、相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、今後の社会生活に繋げる。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	茶事の基本を理解し、役割について説明ができる。				レポート	10%	
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。				授業態度	60%	
多様性理解力	仲間と協力し、茶事を運営することができる。				卒業の茶事への参加	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
卒業の茶事への参加は20%とし、茶事の事前準備や当日の取り組む姿勢から評価する。授業態度については60%とし、稽古への積極性を評価する。レポートは10%とし、ポートフォリオを使用して卒業の茶事を終えての感想や気付きから評価する。また、毎回の授業内容についてポートフォリオを用いて整理し、個別にフィードバックを行う。							
授業の概要							
グループに分かれて、客を招き、卒業の茶事を成功させることを目標とする。各グループで茶事の流れ(寄付き、露地、外待合、炭点前、懐石料理、中立ち、濃茶席、薄茶席)について、グループワークを通して稽古をする。客への案内状の作成や炭の準備も行う。また、点前については茶道文化研究所作成の動画も使いながら、炉の薄茶点前や濃茶点前の概要を理解する。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：嶋内 麻佐子『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流 茶会の流れ』長崎短期大学特色GP関連事業(2007年) 安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年) 指定図書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・茶道文化履修の集大成として「卒業の茶事」を実施するにあたり、4年間共に学んできた学友と力を合わせて茶事に取り組んでほしい。学びの中心にあった「ホスピタリティ精神」や「もてなし」についてもう一度見つめ直し、4年間の思いを込めた茶会を成功させてほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・薄茶点前（炉）見本	薄茶点前（炉）の見本を確認し、概要を理解する。	薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
2	・濃茶点前（炉）見本	薄茶点前（炉）の見本を確認し、概要を理解する。	濃茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
3	・薄茶点前（炉）稽古① ・濃茶点前（炉）稽古①	茶会形式で濃茶点前および薄茶点前（炉）の復習（拝見を含む）	濃茶点前および薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
4	・薄茶点前（炉）稽古② ・濃茶点前（炉）稽古②	茶会形式で濃茶点前および薄茶点前（炉）の復習（拝見を含む）。	濃茶点前および薄茶点前の流れと炉の点前の置き合わせを予習・復習する。
5	・炭点前（炉）復習① ・炭を切る①	炭点前（炉）の復習。 茶事本番用の炭を切る。	炭点前の流れと道具の扱い方を予習・復習する。
6	・炭点前（炉）復習② ・炭を切る②	炭点前（炉）の復習。 茶事本番用の炭を切る。	炭点前の流れと道具の扱い方を予習・復習する。
7	・班別練習①	卒業の茶事に向け、班別に練習を行う。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp. 30～70を読み、予習・復習する。
8	・班別練習② ・茶事の日程 ・役割決め	卒業の茶事に向け、班別に練習を行う。 茶事の日程・役割を決める。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp. 30～70を読み、予習・復習する。
9	・班別練習③	卒業の茶事に向け、班別に練習を行う。	参考書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』pp. 30～70を読み、予習・復習する。
10	・茶事の準備①	客迎えの準備を学ぶ。	卒業の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
11	・茶事の準備②	客迎えの準備を学ぶ。	卒業の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
12	・卒業の茶事(前日)	客迎えの準備を学ぶ。	各役割の動きについて予習・復習をする。
13	・卒業の茶事(本番)	客を招き、卒業の茶事を実施する。	各役割の動きについて予習・復習をする。
14	・初釜	新年を祝う初釜を実施する。日本の正月や初釜について学び、鎮信流の流儀の特長を示す床の飾り方や、古来松浦家の風習について理解を深める。	日本の正月について予習・復習する。
15	・松芳忌	学校法人九州文化学園の創設者である安部芳雄（松芳）先生の遺徳をしのび、献茶式を実施する。	教科書 pp. 7～12 を読み、予習・復習する。